

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナーシングルームほのぼの		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年 12月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士2名と児童指導員1名にて 通常より手厚い体制で保育を行っている	子どもの可能性を常に見つけ、 伸ばしはぐんでいくことをモットーにしている	日々保育に関する振り返りを行い、 つぎの保育に活かす。 研修会に参加し、保育の質の向上に努める
2	感染症対策に努めていて 施設内での集団発生を防いでおり 充実した感染対策を行っている	手洗い、マスクの奨励、ワンケア・ワン手洗いの 徹底	手洗い実施の相互チェック。 感染対策の研修会の出席と施設内での実施
3	利用者の年齢が0～100歳までの施設特性を 活かし高齢者と児童が自然にかかわることができる	誕生会や季節のイベントに 高齢者や障害者も一緒に参加している	併設している住宅型有料老人ホームとの合同行事 を行っていく。 他の施設との見学・ふれあいの場を作っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災への取組等を行っているが 情報発信力が弱い 十分に保護者に情報が伝わっていない	防災への取り組みをさらに充実させ、 情報を発信する方法を改めて感えていく	情報発信に使用するツールを改めて考えて 利用者の保護者に伝わりやすさをためしていく
2	地域との交流が行えていない	設立してコロナ禍にすぐに入ってしまったため 地域との交流はこれからの課題として考えている	地域の施設を訪問したり 当法人内の施設との連携を図り合同でイベントを行うなど 地域に向けた施設になるような動きを考えていく
3	施設内でもっとスタッフ同士が話し合える場を 求めていることが調査によって分かった。	毎朝、情報の共有・チームワークを高めるために ミーティング(前日の申し送りを含む) 行なっている	ただ話す時間を長くするだけではなく、 効率的なミーティングの進捗を考えていく またスタッフの発言をより大切に実際に形にしておくように 在り方を変えていく